とされている。実際こういった虫垂炎例では高い合併症率を伴う。今回、当科での虫垂炎手術症例のなかで特に汎発性腹膜炎を伴う症例に主眼を置き検討した。

【方法】 2001年5月～2008年7月までの間に、当科にて経験した虫垂炎手術症例282例のうち、持続的腹腔鏡下虫垂切除術を施行した14例を除く腹腔鏡症例223例の中から穿孔およびそれに伴う汎発性腹膜炎を認めるものを検討対象とし、その手術時間、合併症、開腹移行率、入院期間等を検討した。対照症例は術前に汎発性腹膜炎を認めた開腹症例とした。

【結果】臨床的に汎発性腹膜炎を伴うと診断された症例は21例（9.4％）であった。開腹手術49例中5例を対照群とした。年齢は5歳から14歳（中央値10歳）、で、男児4例、女児13例であった。手術時間は80分から175分（中央値118分）であり通常の腹腔鏡下虫垂切除よりも長くなる傾向を認めた。術中の合併症はなく、術後の合併症は遺残膿瘍3例、縫合糸膿瘍1例、創感染1例を認めた。対照群は創感染を2例に認め比較的多い傾向となった。開腹移行は21例中2例で、いずれも高度な炎症と腹満によりワークスペースの確保が困難で開腹へ移行した。入院期間は6日から32日（中央値9日）で、非穿孔例と比較しては有意に長い傾向となっていた。

【結論】一般に腹腔鏡下虫垂切除術はワークスペースを確保し難しいイレウスを呈するような汎発性腹膜炎症例では適応とならない。しかしながら、基本操作を慎重に、焦らずに、確実に行うことにより通常の腹腔鏡下虫垂切除術と過早く十分に安全に施行可能と考える。さらに腹腔内の所見をしっかりと把握でき、また腹腔内の洗浄が確実にできるなどの開腹手術率より優れた点も存在すると考える。

S1-3. 診療報酬改正後の腹腔鏡下虫垂切除の採算性
○籠坂 宗親、北川 博昭、鳥 秀樹
佐藤 英章、浜野 志穂
（聖マルリアンナ医科大学小児外科）

【目的】小児外科領域においても従来の開腹手術に加え、鏡視下手術が幅広く取り入れられつつある。しかし、診療報酬点数で採算性に疑問が残る事態も存在する。2008年4月の診療報酬改正で腹腔鏡下虫垂切除術は18,000点から虫垂周囲膿瘍を伴わないもの8,210点、周囲膿瘍を伴うもの10,880点と大幅に削減された。これによる虫垂切除術のコスト面での検討を行った。

【方法】診療報酬改正後に虫垂切除術を施行した21例を、開腹群（A群）と腹腔鏡手術群（B群）に分け、それぞれのレセプト上での診療報酬点数、入院期間、合併症などを比較検討した。

【結果】A群（n=9）は男女比5:4、年齢は10±3歳、診療報酬は58,066±17,062点で在院日数は8±5日であった。この中で腹腔内膿瘍と術後イレウスを除いた7例の保険点数は47,934±5,777点で在院日数は6±1日であった。B群（n=12）は男女比9:3、年齢は12±2歳、診療報酬は48,242±7,239点で入院期間が6±1日であった。術後合併症はA群の2例のみで、B群には認めなかった。腹腔鏡で使用したディスポ製品は全例カニューラ3本、エンドループ2本、超音波凝固装置（ウルトラサンズ）であり、その金額は超音波凝固装置を除いておおよそ2万5千円であった。

【考察】4月の診療報酬点数改正後の虫垂炎手術21例を分けて比較検討した。両群の年齢、入院期間に有意差は認めなかった。術後合併症を除いた19例では、実際の診療報酬にも有意差を認めなかった。開腹術と腹腔鏡下の虫垂切除の診療報酬点数差は2,000点であり、ディスポ製品の2万5千円を加味すれば腹腔鏡下手術の診療報酬点数改正は妥当と考えられた。

【結論】腹腔鏡下虫垂切除の診療報酬は半減されたが、開腹、腹腔鏡下手術間で最終的なコスト面での差は認めなかった。

S1-4. 腹腔鏡補助単孔式虫垂切除術—手技困難例の手技のポイントと合併症対策
○西山 茂、谷水 長之、木村 晃史
山本 祐司
（防衛医科大学校外科・小児外科）

【目的】虫垂切除術の難易度は開腹、鏡視下に拘らず症候の程度による。緩やく汎発性腹膜炎であろうと穿孔間もない症例では腹腔内洗浄に時間を費やすものの虫垂切除はそれほど困難ではない。発症から長時間経過した穿孔性虫垂炎の手技の難易度は高く、これを完遂するには高い技術と経験が必要となる。強い養殖症例の手技のポイントと合併症対策について述べる。

【対象】1996年から現在までにおこなった腹腔鏡下虫垂切除術は500例でこのうち明らかに発症から3日以上経過した穿孔性腹膜炎91例を対象とした。年齢は2歳～16歳（平均9.9歳）、男：女＝50:41。

【手技】術後創感染の軽減のために皮切以外に縫合切開を用いずにTrocarを挿入する。虫垂根部が容易に同定できる症例はそれほど難易度は高く、虫垂根部が同

日本外科学会誌 第44巻第6号 2008年10月